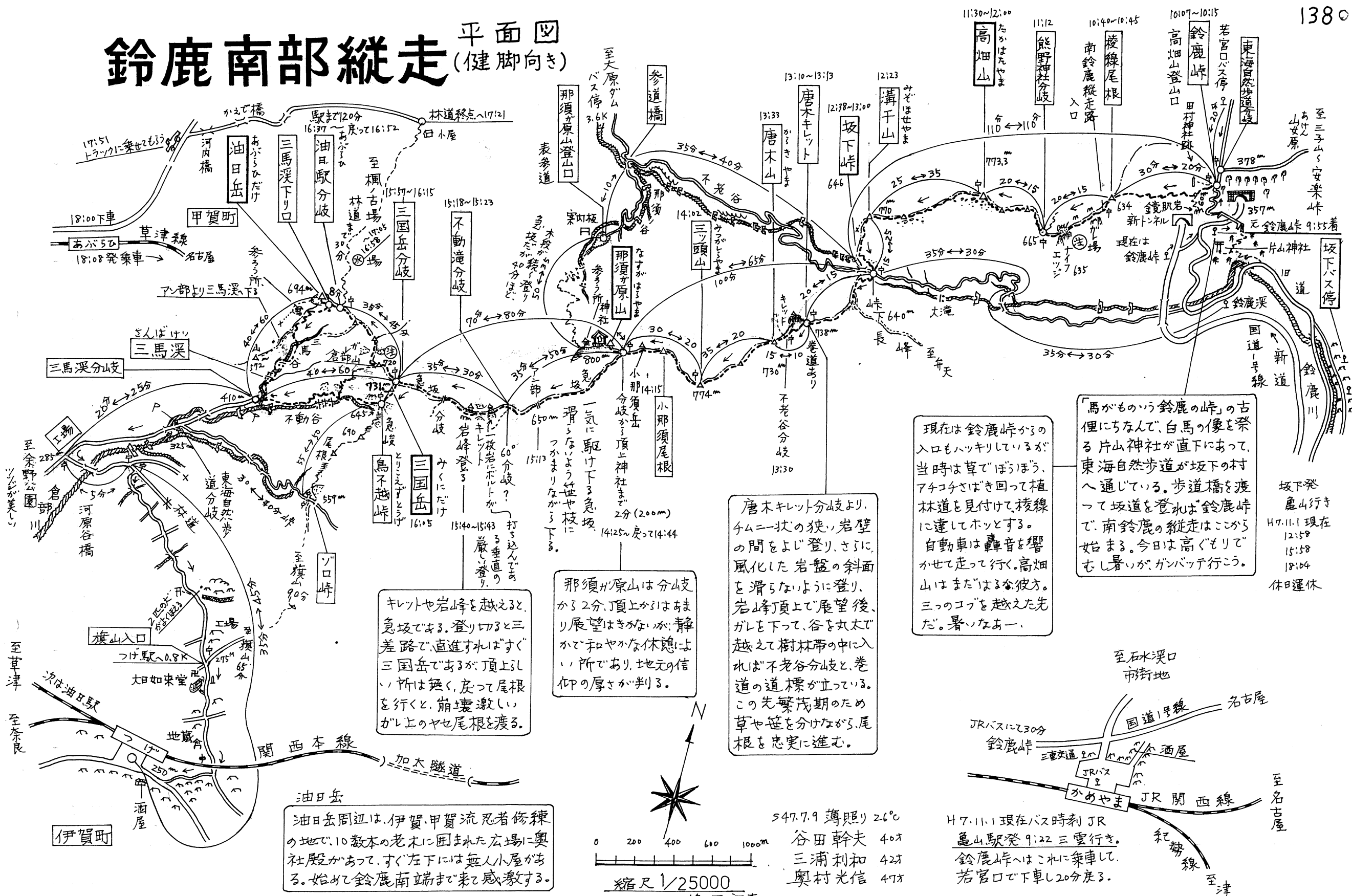


# 鈴鹿南部縦走 (健脚向き) 平面図



現在は鈴鹿峠からの入口もハッキリしているが、当時は草でぼうぼう、アチコチさき回って植林道を見付けて、稜線に達してホッとす。自動車は轟音を響かせて走って行く。高畑山はまだはるな彼方。三つのコブを越えた先だ。暑いなあー。

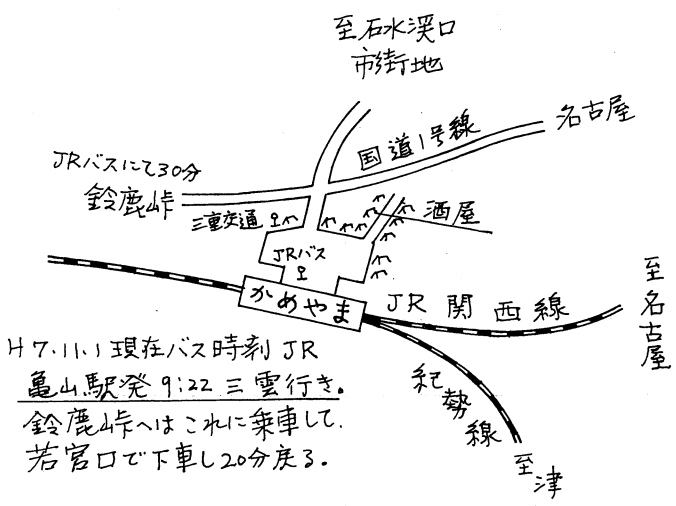
「馬がものゝ鈴鹿の峠」の古俚にちなんで、白馬の像を祭る片山神社が直下において、東海自然歩道が坂下の村へ通じている。歩道橋を渡って坂道を登れば鈴鹿峠で、南鈴鹿の縦走はここから始まる。今日は高くもりでむし暑い。ガンバッて行こう。

唐木キレット分岐より、チムチム状の狭い岩壁の間をよじ登り、さらに風化した岩盤の斜面を滑らないように登り、岩峰頂上で展望後、ガレを下って、谷をぬぐって越えて樹林帯の中に入れば不老谷分岐と、巻道の道標が立っている。この先繁茂期のため草や笹を分けながら、尾根を忠実に進む。

那須が原山は分岐から2分、頂上からはあまり展望はきかないが、静かで落ち着いた休憩はいい所であり、地元の信仰の厚さが判る。

キレットや岩峰を越え、急坂である。登り切ると三差路で、直進すればすぐ三国岳であるが、頂上し、所は無く、戻って尾根を行くと、崩壊激しいガレ上のヤセ尾根を渡る。

油日岳  
油日岳周辺は、伊賀・甲賀流忍者修練の地で、10数本の老木に囲まれた広場に奥社殿があって、すぐ左下には無人小屋がある。始めて鈴鹿南端まで来て感激する。



縮尺 1/25000  
1972 昭和47.7.9 (日) 第1回調査  
平成8年訂正済み

547.7.9 薄照り 26℃  
谷田 幹夫 40才  
三浦 利和 42才  
奥村 光信 47才

H7.11.1 現在バス時刻 JR  
亀山駅発 9:22 三雲行き。  
鈴鹿峠へはこれに乗車して、  
若宮口で下車し20分戻る。

坂下発  
亀山行き  
H7.11.1 現在  
12:58  
15:58  
18:04  
休日運休